

公 告

分任契約担当官
陸上自衛隊大村駐屯地
第363会計隊大村派遣隊長 清野 幸司

以下のとおり一般競争入札を実施するので、「入札及び契約心得」及び「契約条項」を承知のうえ参加されたい。

1 入札事項

契約実施計画番号		調 達 要 求 番 号		物 品 番 号		仕 様 書 番 号	
6S8C1TK00010		6SUY1AB0062 0001					
品名 または 件名							
大村（8）非常用自家発電設備保守点検（D点検）							
部品番号 または 規格							
仕様書のとおり							
使 用 器 材 名							
数 量	単位	銘 柄	使 用 期 限 等	グ ル ー プ	指定	検査	包装
1.00	ST						
納地または工事場所			引 渡 場 所				
陸上自衛隊 大村駐屯地			大村駐屯地業務隊管理科				
搬 入 場 所			納 期 ま た は 工 期				
受電所 北平技官			令和9年1月29日（金）				

2 競争参加資格

次のいずれかであること
全省庁統一資格の「役務の提供等」に係る等級がA、B、C、D等級であること
ただし、細部は注意事項による。

3 契約条項を示す場所

仕様書及び入札心得等については、第363会計隊大村派遣隊契約班及び西部方面隊ホームページに掲示する。

4 説明会及び入札執行の日時場所

説明会日時場所：
入札日時場所：令和8年8月27日（木）10時00分 大村会計隊 事務室

5 保証金

入札保証金：免除 契約保証金：免除

6 落札決定方式及び契約方式

落札決定方式：総品目総額 契約方式：一般競争

7 注意事項

他の項目については、別紙による。

1 入札参加資格者

- (1) 予算決算及び会計令第70条の規定に該当しない者であること。なお、未成年者、被保佐人又は被補助人であって、契約締結のために必要な同意を得ている者は、同条中、特別の理由がある場合に該当する。
- (2) 予算決算及び会計令第71条の規定に該当しない者であること。
- (3) 令和7・8・9年度全省庁統一競争参加資格「役務の提供等」のD等級以上を有する者であること。
- (4) 大臣官房衛生監、防衛政策局長、防衛装備庁長官及び陸上幕僚長から「装備品等及び役務の調達に係る指名停止等の要領」に基づく指名停止の措置を受けている期間中の者でないこと。
- (5) 前号により現に指名停止を受けている者と資本関係又は人的関係のある者であって、当該者と同種の物品の売買又は製造若しくは役務請負について防衛省と契約を行おうとする者でないこと。
- (6) 原則、現に指名停止を受けている者の下請負については認めない。ただし、真にやむを得ない事由を該当する省指名停止権者が認めた場合には、この限りでない。
- (7) 入札等参加者心得に定める「暴力団排除に関する誓約事項」に基づく誓約を行った者であること。
- (8) 競争参加資格審査結果通知書（写）を期限までに提出し、確認を受けている者

2 公告の提示場所： 陸上自衛隊 西部方面隊ホームページ (<http://www.mod.go.jp/gsdf/wae>)・大村駐屯地・竹松駐屯地・相浦駐屯地・海自大村航空基地及び大村・諫早・長崎・佐世保の各商工会議所

3 契約条項及び入札参加者心得を示す場所： 陸上自衛隊 大村駐屯地第363会計隊大村派遣隊・西部方面隊ホームページ

4 落札決定方法

- (1) 総品目総額（税抜き）とし、総品目総額（税抜き）が当隊所定の予定価格制限の範囲内の最低入札者を落札者とする。
なお、落札となるべき最低入札者が2人以上ある場合は、くじ引きにより落札者を決定する。
- (2) 総品目総額（税抜き）が予定価格に達しない場合は、再度入札を実施する。

5 保証金に関する事項

- (1) 入札保証金： 免除
ただし、落札者が契約を締結しない場合は、落札金額の100分の5以上を違約金として徴収する。
- (2) 契約保証金： 免除
ただし、契約者がその契約上の義務を履行しない場合は、契約金額の100分の10以上を違約金として徴収する。

6 入札方法

- (1) 落札決定に当たっては、入札書に記載された当該金額の10%（軽減税率対象品目については8%）に相当する額を加算した金額をもって契約金額とするので、各入札者は消費税課税、免税事業者を問わず見積もった金額の110分の100（軽減税率対象品目については108分の100）に相当する金額を入札書に記載すること。
- (2) 入札書下部余白に「当社（私・個人の場合）、当団体（団体の場合）は上記公告に対して「入札及び契約心得」及び「標準契約書等」の契約条項等を承諾の上入札致します。また「入札及び契約心得」に定める暴力団排除に関する事項について誓約します。」と記載すること。記載がない場合、競争参加者として認めない。

7 入札の無効

- (1) 競争参加の資格のない者のなした入札
- (2) 電話・電報・FAX等による入札
- (3) 入札金額、入札者名称等がない入札並びに判別し難い入札
- (4) 1（7）について、入札者が実施した誓約に虚偽があった場合又は誓約に反する事態が生じた場合
- (5) その他入札に関する条項に違反した入札

8 契約書等作成

- (1) 契約者は決定後、契約金額により「駐屯地用標準契約書等」の様式により作成する。
- (2) 適用する契約条項
「役務請負契約条項」
「談合等の不正行為に関する特約条項」
「暴力団排除に関する特約条項」

9 その他

- (1) 入札参加希望者は、10 問い合わせ先の会計隊まで入札参加希望の一報を入れること。FAX又はメールの場合、2 営業日経過後に返答のない場合は再度電話等で連絡をお願いします。また入札参加希望者は令和8年8月24日(月)17時00分までに、会計隊まで競争参加資格審査結果通知書(写)を提出(FAX又はメール可)すること。資格確認後、入札書等の必要書類をFAX又はメールにより送付する。
- (2) 入札を委任する場合は、入札開始前までに「委任状」を提出すること。
- (3) 郵便による入札の場合は、令和8年8月26日(水)17時00分までに必着すること。この際、第363会計隊大村派遣隊の担当者へ連絡を確実に実施すること。入札書を封筒に入れて、その封筒の表に氏名(法人の場合はその名称又は商号)及び「入札書在中」と記入すること。また、入札金額が同額になる場合は当該入札に関係のない職員により抽選を実施する。郵便による入札参加者がいる場合の再度入札日時については、別途連絡する。
- (4) 「入札等参加者心得」を承知の上参加すること。
- (5) 最低価格の入札金額が契約等担当官等の定める調査基準額に該当する場合は、入札価格の内訳書等といった積算資料等を提出していただくよう依頼する可能性があります。積算資料等の提出に応じていただけない場合又は不十分な場合は、その旨説明を求める可能性があります。積算資料等の提出・説明に応じない場合又は不十分な場合は、「契約の内容に適合した履行がされないおそれがある」ものとして落札者としなない可能性があります。
- (6) 市場価格調査を実施する場合があります。その際はご協力お願い致します。

10 問い合わせ先

〒856-8516 長崎県大村市西乾馬場町416 陸上自衛隊大村駐屯地

入札に関する事項 : 第363会計隊大村派遣隊 契約班 勝本(かつもと)

TEL 0957-52-2131 (内線 347)

FAX 0957-52-2131 (内線 344)

メール: 363fin_omuradet_wafin_wa@inet.gsdf.mod.go.jp

仕様書に関する事項 : 業務隊管理科 北平(きたひら)

TEL 0957-52-2131 (内線 307)

大村（8）非常用自家発電装置保守点検（D点検）

業務隊長	管理科長	科付専門官	営繕班長	企 画	管 財	施設管理	電 気 係	担 当
								
件 名	大村（8）非常用自家発電装置保守点検（D点検）							
図面名称	表 紙							
縮 尺	—	作成年月日	令和8年8月3日			図面番号	—	
所 属	大 村 駐 屯 地 業 務 隊 管 理 科				仕 様 書 番 号			

仕 様 書

件 名	大村（８）非常用自家発電装置保守点検（Ｄ点検）	作成年月日	令和８年８月３日
		所 属	大村駐屯地業務隊管理科営繕班
		作 成 者	防衛技官 北平 慧介

1 役務場所

長崎県大村市西乾馬場町４１６ 陸上自衛隊大村駐屯地

2 役務概要

非常用自家発電装置３００ｋＶＡ×１基、及び付帯設備の保守点検・整備 一式

3 一般事項

- (1) 本役務は、本仕様書及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築保全業務共通仕様書」による他、電気事業法、消防法等関係諸法令に基づき実施するものとする。
- (2) 本役務の実施にあたり、本仕様書と図面あるいは現地において、疑義、相違及び不明な点が生じた場合は、担当官と協議しその指示に従うものとする。
- (3) 写真は、着手前、完了後、各工程毎及び材料搬入状況等を撮影し写真帳（Ａ４）に整理し提出するものとする。
- (4) 作業場所及び指定された場所以外の無断立入り及び写真撮影は禁止するものとする。
- (5) 請負者は、業務責任者を指名し関係法令に従って現場の管理に当たらせ、関係者の監督及び火災・盗難等の災害防止に十分な注意を払わせるものとする。現場においては常に整理整頓を行い、災害等においては自らの責に任ずるものとする。
- (6) 本役務に使用する材料は、再使用品を除き全て新品とし、カタログ等を提出し承認を受け、合格品のみを使用するものとする。
- (7) 点検及び確認等の結果に応じ、実施する保守の範囲は、次のとおりとする。
 - ア 汚れ、詰まり、付着等がある部品又は点検部の清掃
 - イ 取付け不良、作動不良、ずれ等がある場合の調整
 - ウ ボルト、ねじ等で緩みがある場合の調整
 - エ 次に示す消耗品の交換又は補充
 - a 潤滑油、グリス、充填油等
 - b ランプ類、ヒューズ類
 - c パッキン、ガスケット、Ｏリング類
 - オ 接触部分、回転部分等への注油
 - カ 軽微な損傷がある部分の補修
- (8) 本役務において発生した産業廃棄物（廃油等）については、請負者の責任において、関係法令に基づき搬出・処分し、マニフェスト（Ｅ票）の写しを提出するものとする。
- (9) 本役務において電気及び水道を使用する場合は、請負者側で準備するものとする。自衛隊の電気及び水道を使用する場合は、事前に担当官に連絡の上、メーターを取付、その使用料金を徴収する。

4 特記事項

(1) 本役務において保守点検等を実施する設備仕様等は、次のとおり。

ア 非常用自家発電装置

機器名称	数量	規 格 等	設置場所
原動機	1 台	製造者名 ヤンマーエネルギーシステム株式会社 型 式 立形単動 4 サイクル過給機付ディーゼル機関 6HAL2-DT 製 造 年 2012年 製造番号 5496 定格出力 310kW 回転速度 1800min-1 気 筒 数 直列 6 気筒 (内径130φ×行程165mm) 回転方向 左 (ハズミ車から機関を見て) 燃焼方式 直接噴射式 始動方式 セルモータによる電気始動 (DC24V 6kW) 冷却方式 ラジエータ冷却方式 (冷却水量53.6L) 潤滑油量 API CD級以上 10W-30 60L 使用燃料 軽油 (燃料使用量 定格運転時85.9L/h)	発電機室
交流発電機	1 台	製造者名 オーハツ株式会社 型 式 三相同期発電機 CDB・OCS-630 製 造 年 2012年 製造番号 12J0314 定格出力 300kVA (240kW) 定格電圧 6600V 定格電流 26.3A 周 波 数 60Hz 極 数 4 極 回転速度 1800min-1 回転方向 左 (反直結側から見て)	発電機室

イ 補機類等

機器名称	数量	規 格 等	設置場所
自家発始動用 直流電源盤	1 台	製造者名 ユアサM&B株式会社 装置型式 SWSB24-10-150 製造番号 120999-1 蓄電池型式 SNS-150 ㌔数12 150Ah 電源入力 1φ2W AC200V 定格容量 0.56kVA 整流出力 浮動充電電圧 DC26.8V 定格電流 10A	発電機室
自家発制御用 直流電源盤	1 台	製造者名 ユアサM&B株式会社 装置型式 GWCB100-10-50 製造番号 120999-2 蓄電池型式 SNS-50-12 ㌔数9 50Ah 電源入力 1φ2W AC200V 定格容量 2.3kVA 整流出力 浮動充電電圧 DC120.4V 定格電流 10A	発電機室

機器名称	数量	規 格 等	設置場所
地下オイルタンク	1 基	容 量 6000L 油の種類 軽油	発電機室屋外
サーピスタンク	1 基	容 量 300L 油の種類 軽油	発電機室
燃料移送ポンプ	2 台	製造者名 株式会社荏原製作所 型 式 12GPA6. 3A 定 格 3φ3W AC200 0. 2kW	発電機室
給気装置	1 台	製造者名 三菱電機株式会社 型 式 KG-80HTF3 定 格 3φ3W AC200 2. 2kW 付 属 品 屋外SUS製フード (防火ダンパーFVD手動復帰式付)	発電機室
排風消音器	1 台	形 式 搭載型 付 属 品 屋外SUS製フード (防火ダンパーFVD手動復帰式付)	発電機室

ウ ガス検知警報器

機器名称	数量	規 格 等	設置場所
指示計器部	1 台	製造者名 理研計器株式会社 型 式 GH-6001 製造番号 28D00437 対象ガス 軽油 (0-2000ppm)	発電機室
ガス検知部	1 台	製造者名 理研計器株式会社 型 式 GD-A80V 製造番号 28K0343701RN 対象ガス 軽油 (0-2000ppm) センサ型式 SG-8521	発電機室屋外

エ 保護継電器・遮断器等

機器名称	数量	規 格 等	設置場所
過電流継電器	1 台	製造者名 光商工株式会社 型 式 LOC-14 製造番号 805507 製 造 年 2012年	発電機室 自動始動発電機盤
過電圧継電器	1 台	製造者名 オムロン株式会社 型 式 K2VA-S24-F4 製造番号 280012 製 造 年 2012年 制御電圧 DC100/110V	
不足電圧継電器	1 台	製造者名 オムロン株式会社 型 式 K2VU-S24-F4 製造番号 290009 製 造 年 2012年 制御電圧 DC100/110V	

機器名称	数量	規 格 等	設置場所
地絡電圧継電器	1 台	製造者名 光商工株式会社 型 式 LVG-7 製造番号 359362 製 造 年 2012年 制御電圧 AC110V	発電機室 自動始動発電機盤
電圧継電器	1 台	製造者名 オムロン株式会社 型 式 LG2-AB (AC100V) 製造番号 280094 制御電圧 AC100V	
真空遮断器	1 台	製造者名 三菱電機株式会社 型 式 VF-8CM-DG 製造番号 2HB119 製 造 年 2012年 定格電圧 7.2kV 定格電流 400A 定格遮断電流 8kA	
不足電圧継電器	1 台	製造者名 富士電機株式会社 型 式 QH-UV1 製造番号 23271 製 造 年 2013年 制御電圧 AC110V	3号非常用 高圧切替盤
電源切替用 高圧交流真空 負荷開閉器	1 台	製造者名 株式会社戸上電機製作所 型 式 VAS-B-GN11 製造番号 E358784 製 造 年 2012年 定格電圧 7.2kV 定格電流 400A 制御電圧 AC100V	
負荷開閉器	1 台	製造者名 三菱電機株式会社 型 式 SCL-EHN2R 製造番号 A80WN0025 製 造 年 2012年 定格電圧 7.2kV 定格電流 200A	
高圧ケーブル	—	規 格 6kV EM-CET 22sq 区 間 自動始動発電機盤～ 3号非常用高圧切替盤	

機器名称	数量	規 格 等		設置場所
不足電圧継電器	1 台	製造者名 型 式 製造番号 製 造 年 制御電圧	富士電機株式会社 QH-UV1 23299 2013年 AC110V	A 地区非常用 高压切替盤
電源切替用 高压交流真空 負荷開閉器	1 台	製造者名 型 式 製造番号 製 造 年 定格電圧 定格電流 制御電圧	株式会社戸上電機製作所 VAS-B-GN11 E358783 2012年 7. 2kV 400A AC100V	
負荷開閉器	1 台	製造者名 型 式 製造番号 製 造 年 定格電圧 定格電流	三菱電機株式会社 SCL-EHN2R A8OWN0026 2012年 7. 2kV 200A	
高压ケーブル	—	規 格 区 間	6kV EM-CET 22sq 3 号非常用高压切替盤～ A 地区非常用高压切替盤	
不足電圧継電器	1 台	製造者名 型 式 製造番号 製 造 年 制御電圧	富士電機株式会社 QH-UV1 23300 2013年 AC110V	C 地区非常用 高压切替盤
電源切替用 高压交流真空 負荷開閉器	1 台	製造者名 型 式 製造番号 製 造 年 定格電圧 定格電流 制御電圧	株式会社戸上電機製作所 VAS-B-GN11 E358782 2012年 7. 2kV 400A AC100V	
負荷開閉器	1 台	製造者名 型 式 製造番号 製 造 年 定格電圧 定格電流	三菱電機株式会社 SCL-EHN2R 436894001 2012年 7. 2kV 200A	
高压ケーブル	—	規 格 区 間	6kV EM-CET 22sq A 地区非常用高压切替盤～ C 地区非常用高压切替盤	
低压ケーブル	—	規 格 区 間	600V EM-C E38sq-3C C 地区低压電灯盤～ 受電所低压電灯盤	

- (2) 点検項目及び点検内容は、「5 保守点検項目表」及びメーカー推奨定期点検（D点検）に従い実施するものとする。

また、消防法に基づく非常電源（自家発電設備及び蓄電池設備）の点検を併せて行うこと。

- (3) 本役務で交換する部品名称及び規格、数量は下表のとおり。

ア 自家発電装置本体

部 品 等 名 称	規 格 等	純正部品番号	数 量
側蓋パッキン		126650-01411	2 個
潤滑油フィルターエレメント		126650-35350	1 個
燃料フィルターエレメント		41650-502330	1 個
過給機プレフィルター		128624-18330	1 個
燃料噴射弁プロテクタ		126683-11940	6 個
燃料噴射弁パッキン		126650-11840	6 個
燃料噴射弁断熱材		126629-11920	6 個
冷却水ポンプ駆動ベルト		126650-44781	1 個
冷却水ヒーター		46150-559070	1 個
機関潤滑油	API CD級以上 10W-30		6 0 L
冷却水不凍液	-5℃相当で30%割合		1 6 L

※交換部品については製造会社指定品又は同等品を使用すること。

イ 蓄電池設備

部 品 等 名 称	規 格 等	備 考	数 量
鉛蓄電池（始動用直流電源盤）	SNSX-150		1 2 個
鉛蓄電池（制御用直流電源盤）	SNSX-50		9 個

※交換部品については製造会社指定品又は同等品を使用すること。

- (4) 作業終了後、保守点検項目表に従った保守点検報告書を1部担当官に提出するものとする。
- (5) 別途経費を必要とする修繕箇所が発生した場合は、書面及び写真と共に見積書を添付し担当官に提出するものとする。
- (6) 実負荷運転における停電の予定時期は令和7年11月の土、日及び祝日とし、関係者立会のもと実施するものとする。

5 保守点検項目表	
点 検 項 目	点 検 内 容
1 原動機	① 原動機の据付け状況の点検 ② 各部の汚損、変形等の有無の点検 ③ 機側の各配管等に燃料、冷却水、潤滑油等の漏れがないか点検 ④ クランクケース、過給機、燃料ポンプ、調速機等各部の潤滑油量の点検 ⑤ 潤滑油の交換 ⑥ 燃料フィルター及び潤滑油フィルターの交換 ⑦ 調速機（リンク系統及び電気系統）装置の作動状況の点検 ⑧ ラジエータ本体及びファン等の変形、損傷、緩み、腐食、漏水等の有無の点検 ⑨ ファンベルトの交換 ⑩ ラジエータコア外面の汚損の有無の点検 ⑪ ラジエータ内部の冷却水の交換 ⑫ 冷却水の水量の点検及び加圧試験 ⑬ 機関のターニングにより次の点検を行う a 各シリンダーの吸排気弁の開閉時期及びバルブクリアランスの調整 b 燃料噴射ポンプの吐出開始時期の良否、噴射圧力測定 ⑭ セルモータ、ブラシ点検 ⑮ クランク軸デフレクション計測 ⑯ 過給機は次の点検を行う a プレフィルタ交換及びブロアの洗浄 b 各接続部の空気、ガス漏れ点検 c 主要部分の分解、点検
2 交流発電機	① 発電機本体、出力端子保護カバー等の変形、損傷、脱落、腐食等の有無の点検 ② 発電機の巻線部及び導電部周辺に付着したほこり、油脂等による汚損の有無の点検し乾燥状態にあることの点検 ③ スペースヒータ及び回路の断線、過熱等の有無の点検 ④ 回転整流器の取付状態の点検 ⑤ 軸受等の潤滑状況の良否、変形及び汚損の有無の点検 ⑥ 潤滑油の汚損状況及び水分の混入状況の点検
3 整流装置	
a 外観点検	① 外箱の外観、計器、表示灯、スイッチ類の変形、損傷、腐食等の有無の点検 ② 各部分の汚損、損傷、温度上昇、過熱、変色、異常音、異臭等の有無の点検 ③ 固定金具、据付ボルト等の変形、損傷、緩み等の有無の点検
b 機能点検	① 開閉器及び遮断器の変形、損傷等の有無の点検 ② 自動回復充電の動作確認 ③ 実負荷により常用電源を停電状態にしたときに自動的に非常電源に切替わり、非常電源を復旧したときに自動的に常用電源に切替わることの確認
c 配線・端子	① 内部配線及び端子部の劣化並びに端子接続部の緩みの有無の点検

点 検 項 目	点 検 内 容
4 蓄電池	
a 外観点検	① 各セルについて電槽、蓋、各種全体、パッキン等に変形、損傷、亀裂及び漏液の有無の点検 また、蓄電池の交換時期の確認 ② 架台及び外箱の変形、損傷、腐食等の有無の点検 ③ 蓄電池の転倒防止枠、アンカーボルト等の変形及び損傷の有無の点検 ④ 蓄電池端子と配線及び各セルの蓄電池間の接続部の発熱等異常の有無の点検
b 機能点検	① 自動充電装置については次の点検を行う a 交流入力電圧、浮動充電電圧、充電電流を測定し、正常であることの確認 ② 各セル毎の点検については次の点検を行う a 電槽温度、内部抵抗、浮動電圧を測定し、正常であることの確認
5 補機付属装置類	
a 燃料槽	
(1) 地下タンク	① 貯油量を油面計により点検し、併せて油面計の動作の良否の点検 ② マンホールプロテクター内部の汚れ、滞水、滞油及び堆積物の清掃
(2) サービスタンク	① タンク、配管及び各種バルブの状態並びに取付ボルトの異常の有無の点検 ② タンクの燃料油の沈殿物、水分の有無の点検
b 燃料移送ポンプ	① ポンプ運転用レベルスイッチが正常に作動することの確認 ② ポンプの基礎ボルト及び取付ボルトの点検 ③ 本体に異常音、異常振動、異常な温度上昇等の有無の点検 ④ 漏油の有無の点検
c 防火ダンパー	
(1) ダンパー本体	① 変形、サビ、腐食、傷及び損耗の有無の確認 ② 温度ヒューズの損傷、ビスの緩み及び脱落の有無の確認 ③ ダンパーのがたつき及び変形の有無並びにダクト接続部分のすきま等の有無の点検 ④ 吊金具等による躯体との固定に緩み等の無いことの確認 ⑤ 検査口から羽根が確実に閉鎖することの確認
(2) 自動閉鎖装置	① 自動閉鎖装置に著しい変形、損傷等の有無の確認 ② 温度ヒューズ付自動閉鎖装置の場合は、規定の温度ヒューズであること並びにヒューズ本体及び取付け部の状態が正常であることの確認
d 換気装置	① 給気ファンの据付状態、回転部に緩み、損傷、亀裂、異常音、異常振動等の有無の点検 ② 軸受部の潤滑油に汚れ、変質、異物の混入等の有無の点検
e 排気装置	
(1) 消音器	① 支持金具、緩衝装置等の損傷の有無の点検 ② ドレンバルブ又はドレンコックを点検し、水分等を除去
(2) 排気管	① 排気伸縮管、排気管及び断熱被覆に変形、脱落、損傷並びに亀裂の有無の点検 ② 室外露出部のサビ等の有無及び先端部保護網の取付け状態の良否の確認

点 検 項 目	点 検 内 容
f 各種配管	① 配管等の変形、損傷等の有無の点検し、支持金具に緩みがないことの確認 ② 配管の取付け部及び接続部からの漏れの有無を点検し、バルブの開閉状態が正常の位置にあることの確認 ③ 原動機本体、付属機器及びタンク類との接続部の各種可とう管継手に変形、損傷、漏れ等の有無の点検 また、ゴム状の可とう管継手を使用している場合は、ひび割れ等のないことの確認 ④ 温調弁及び感温部の動作温度が設定値どおりであることの確認。なお、点検で取り外したパッキンは交換すること ⑤ 冷却水系統及び燃料系統の電磁弁の動作状況の確認
6 ガス検知警報器	① メーカー推奨による1年毎点検を実施し異常のないことの確認
7 自動始動発電機盤	
a 盤本体内部配線等	① 盤本体、扉、ちょう盤等の損傷、サビ、変形、腐食等の有無の点検 ② 主回路及び制御用、操作用、表示用等の配線に腐食、損傷、過熱、ほこりの付着、断線等の有無の点検 ③ 主回路端子部、補機回路端子部、検出部端子等の接続部分に腐食、損傷及び過熱による変色の有無の点検 ④ 碍子類、その他支持物の腐食、損傷、変形等の有無の点検 ⑤ スペースヒーター及び回路の断線、過熱等の有無の点検
b 盤内機器	① 自動電圧調整装置（A V R） a 変形、損傷、腐食、ほこりの付着、過熱、接触不良の有無の点検 ② 真空遮断器 a 機器外面の損傷、過熱、サビ、腐食、変形、汚損、変色等の有無の点検 b 本体の取付け状態及び配線接続状態の良否を点検 また、出入れ操作の円滑性及び導体接触部の良否の確認 c 遮断器の開閉表示及び開閉操作の良否。また、動作回数の確認 d 制御回路の断線、端子接続部の緩み等の有無の点検 e 操作機構部の損傷、変形、サビ等の有無の点検 また、可動軸部及び機構部のグリスを取除き、適量のグリスを再注油すること ③ 避雷器 a 機器外面の汚損、損傷、過熱、サビ、腐食、変形、変色、異常音等の有無の点検 b 本体の取付け状態及び配線接続状態の良否の確認 c 接地線の損傷、断線及び端子接続部の緩みの有無の点検

点 検 項 目	点 検 内 容
	④ 計器用変成器 a 機器外面の損傷、過熱、サビ、腐食、変形、汚損、変色等の有無の点検 b 本体の取付け状態及び配線接続状態の良否の確認 c 制御回路の断線、端子接続部の緩み等の有無の点検 d 電力ヒューズ付は、汚損、亀裂等の有無を点検 また、予備ヒューズの確認 ⑤ 指示計器・保護継電器 a 機器外面の損傷、過熱、サビ、腐食、変形、汚損、変色等の有無の点検 b 本体の取付け状態及び配線接続状態の良否の確認 c 接地線の損傷、断線及び端子接続部の緩みの有無の点検 d 制御回路の断線、端子接続部の緩み等の有無の点検 e 各指示計器の零点調整を行い、正常に機能していることの確認 f 保護継電器試験を行い、故障検出器を作動させ、警報及び故障表示の確認
c 制御回路部	① 制御電源スイッチ、自動、手動切替スイッチ、自動始動制御機器等の操作及び取付の良否並びに汚損、破損、腐食、過熱、異常音、異常振動等の有無の点検 ② 補機盤は、次の点検を行う a 補機用電源スイッチ（給気ファン・冷却水ポンプ・潤滑油ポンプ・燃料移送ポンプ等）の操作及び取付状態の良否並びに汚損、破損、腐食、過熱、異常音、異常振動等の有無の点検 b 補機運転用検出スイッチを短絡又は開放して、自動運転ができることの確認
8 非常用高圧切替盤	① 盤本体、扉、ちょう盤等の損傷、サビ、変形、腐食等の有無の点検 ② 表示灯の点灯状況の確認 ③ 機器外面の損傷、過熱、サビ、腐食、変形、汚損、変色の有無の点検 ④ 本体の取付け状態及び配線接続状態の良否の確認 ⑤ 接地線の損傷、断線及び端子接続部の緩みの有無の点検 ⑥ 引込ケーブル等の端子部及びブッシングの汚損並びに亀裂の有無の点検 ⑦ 制御回路の断線及び端子接続部の緩みの有無の点検
9 接地抵抗 (発電機及び自動始動 発電機盤)	① 接地線の断線、腐食等の有無の点検 ② 接地線接続部の取付け状態（ボルト、ナットの緩み、損傷等）の点検 ③ 接地抵抗を測定し、その良否の確認（種別：A種接地）
10 絶縁抵抗	① 「6 絶縁抵抗測定一覧表」のとおり、機器を回路別に絶縁抵抗を測定し、その良否の確認
11 耐震措置	① アンカーボルト、防振装置、可とう管継手等の耐震措置が適正であることの確認 ② アンカーボルト、防振装置、可とう管継手等の変形、損傷及びナットの緩みの有無の点検

点 検 項 目	点 検 内 容
12 高圧ケーブル	① ケーブルの被覆材、支持材及び端子部の損傷、腐食、過熱等の異常の有無の点検 ② 端子部及び分岐接続部の緩み等の点検
13 保護継電器試験	① 「7 保護継電器試験機器一覧表」のとおり各機器の継電器試験を行い、測定値が基準の範囲内で動作すること
14 保護装置	① 「8 保護装置一覧表」のとおり保護装置が正常に動作すること
15 運転機能 (実負荷運転)	① 発電機の定格出力の30%以上の負荷において、「9 機関試験一覧表」のとおり測定し、測定値の良否の点検 ② 運転中に油漏れ、異臭、異常音、異常振動、異常な発熱及び排気色の異常の有無の確認 ③ 運転中に原動機出口より、消音器、建物等の外部に至るまでの排気系統からの排気ガス漏れの有無の確認
16 総合試験	① 「10 始動及び停止時のタイムスケジュール」に基づく、商用停電信号による発電機自動起動及び復電信号による自動復帰、時限の計測 ② 各非常用高圧切替盤のPVSの動作（自動切替）及び表示の確認 ③ C地区受変電設備にてD地区受変電設備向けLBS遮断の確認 ④ A地区・C地区SHTブレーカ遮断の確認
17 運転終了後の点検	① 運転終了後、スイッチ、ハンドル、バルブ等の位置が自動運転の待機状態であることの確認

6 絶縁抵抗測定一覧表

盤 名 称	測 定 回 路	線間・大地間別
自動始動発電機盤	発電機主回路	大地間
	発電機界磁回路	大地間
	冷却水ヒーター	大地間
	潤滑油ポンプ	大地間
	給気ファン	大地間
	1号燃料移送ポンプ	大地間
	2号燃料移送ポンプ	大地間
	スペースヒーター	大地間
	給油口ボックス電源	大地間
自家発始動用直流電源盤	交流入力	大地間
	スペースヒーター	大地間
自家発制御用直流電源盤	交流入力	大地間
	制御用負荷	大地間
	スペースヒーター	大地間

7 保護継電器試験機器一覧表

盤 名 称	種別	名 称	型 式	製造者名	製造番号	製造年
自動始動発電機盤	5 1	過電流継電器	L0C-14	光商工	805507	2012年
	5 9 G	過電圧継電器	K2VA-S24-F4	オムロン	280012	2012年
	2 7 G	不足電圧継電器	K2VU-S24-F4	オムロン	290009	2012年
	6 4 G	地絡電圧継電器	LVG-7	光商工	359362	2012年
	8 4 G	電圧継電器	LG2-AB	オムロン	280094	—
3号非常用高圧切替盤	2 7 R	不足電圧継電器	QH-UV1	富士電機	23271	2013年
A地区非常用高圧切替盤	2 7 R	不足電圧継電器	QH-UV1	富士電機	23299	2013年
C地区非常用高圧切替盤	2 7 R	不足電圧継電器	QH-UV1	富士電機	23300	2013年

8 保護装置一覧表

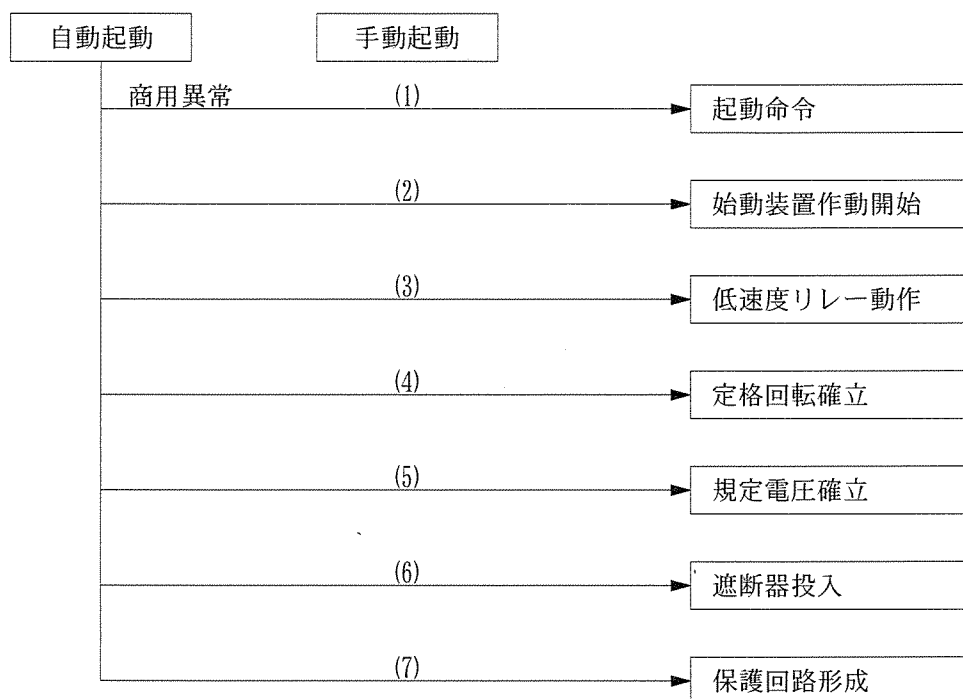
保 護 項 目			警 報	警 報		機 関	主回路
区分	故障項目	デバイス	表示灯	ベル	ブザー	自動停止	遮 断
重 故 障	潤滑油圧力低下	63Q	○	○	—	○	○
	冷却水温度上昇	26W	○	○	—	○	○
	過 回 転	12	○	○	—	○	○
	始 動 渋 滞	48T	○	○	—	○	—
	過 電 流	51	○	○	—	×	○
	過 電 圧	59G	○	○	—	○	○
	不 足 電 圧	27G	○	○	—	○	○
	緊 急 停 止	5E	○	○	—	○	○
	燃料油最低油量	33QLL	○	○	—	○	○
軽 故 障	燃料油油面低下	33QL	○	—	○	×	×
	燃料油油面上昇	33QH	○	—	○	×	×
	地 絡	64G	○	—	○	×	×
	補 機 故 障	86LA	○	—	○	×	×
	地下貯油槽油面低下	33QL2	○	—	○	×	×
	直流電源盤故障	86D	○	—	○	×	×
	A V R 故 障	865AVR	○	—	○	×	×
	配管ピット漏油	33QS	○	—	○	×	×
	SPD用 (AL)	86SPD	○	—	○	×	×

9 機関試験一覧表

測 定 時 刻	出 力	電 圧	電 流	周 波 数	力 率	周 囲 温 度	ディーゼル機関				過給機		発電機	
							回 転 数	潤 滑 油 圧 力	潤 滑 油 温 度 入 口	冷 却 水 温 度 出 口	排 気 温 度 出 口		反 直 結 側 軸 受	
時 分	kW	V	A	Hz	%	℃	min ⁻¹	MPa	℃	℃	℃		℃	
規格値	≤240	6300 ～ 6900	≤26.3	58 ～ 62	—	—	1800	≥0.25 ≤0.4	≤115	≤95	≤580		≤85	

10 始動及び停止時のタイムスケジュール

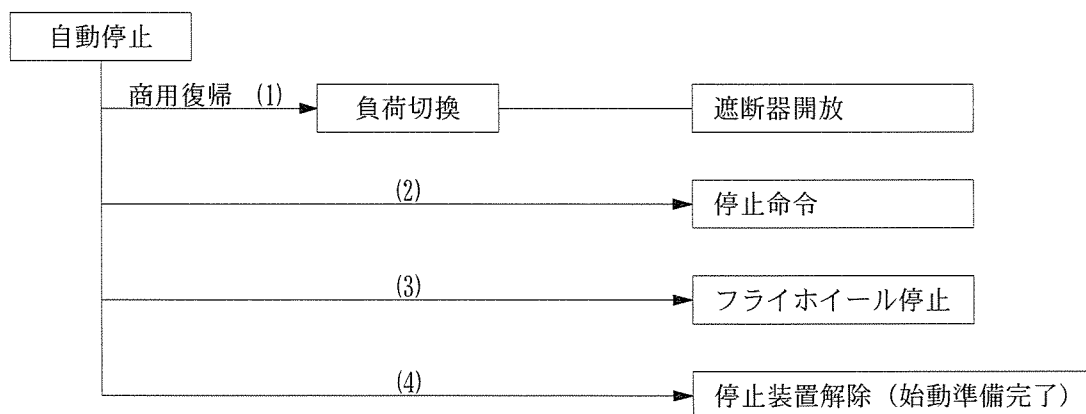
(1) 始動試験



前回点検時の測定値（参考）

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	備 考
時間（秒）	—	1.3	7.6	9.4	10.4	10.4	37.7	自動起動
時間（秒）	—	—	6.6	8.1	9.4	—	36.4	手動起動

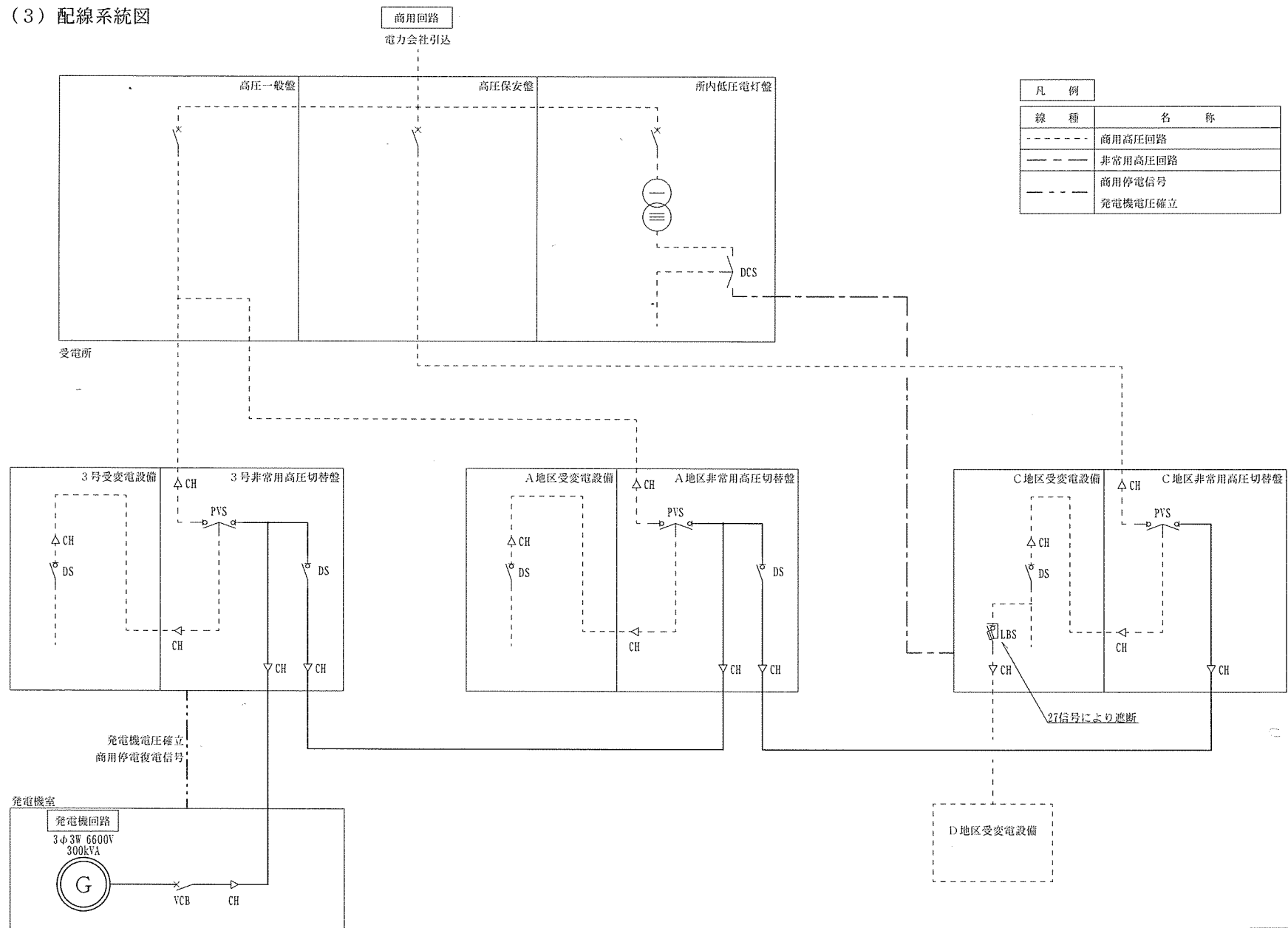
(2) 停止試験

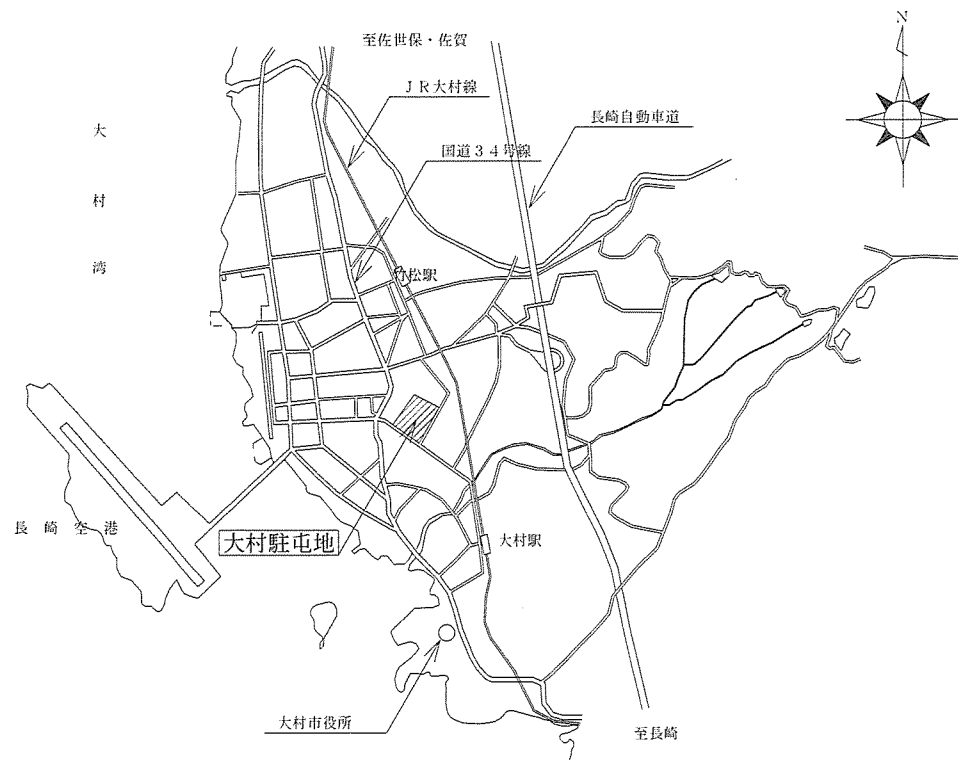


前回点検時の測定値（参考）

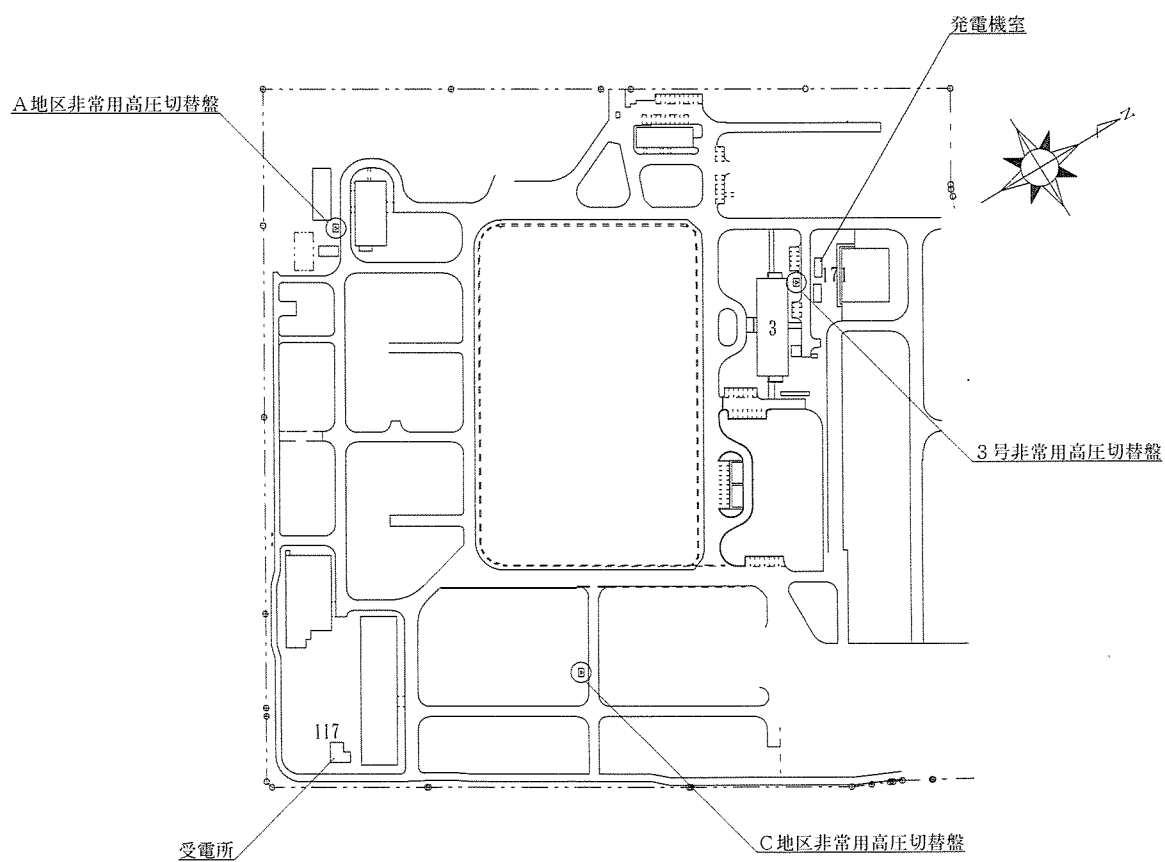
	(1)	(2)	(3)	(4)	備 考
時間（秒）	60.9	362.6	376.1	393.1	自動停止
時間（秒）	—	—	13.6	30.8	手動停止

(3) 配線系統図





大村駐屯地案内図 S=1:X



駐屯地配置図 S=1:4000